337.

先天性股関節脱臼児などのエックス線撮影の調査研究

——— 1986年都道府県別集計 ———

東洋公衆衛生学院

診療放射線技術学科 渡辺 洋 右

(Yousuke Watanabe)

(目的)

1973年石坂らが標記について調査研究の結果、出生数対比で北海道、岩手、宮城、山形、福島、富山、三重、高知、熊本等が先天性股関節脱臼児の発見のためのエックス線撮影数が多かった。そこでその後の状況を把握することを目的とする。

(方法)

アンケート調査形式で股関節脱臼児の発見のためのエックス線撮影数・エックス線撮影で発見された股関節脱臼児の数等を調査項目として行った。

(結果)

北海道、青森、宮城、福島、富山、三重等が出生数対比が多かった

(考察)

この調査研究の結果から、より一層調査項目を増加しエックス線撮影数が多かった都道府県を対象に更に調査をすめ、エックス線撮影数の多い原因や正当性の解析、諸外国との比較等の端緒となりえる。

都道府県	回答率 (%)	出生数 対比(%)	前回出生数 対比(%)	発見比 (%)
北海道	71	64	46.0	4.0
青 森	100	29	18.1	3.3
岩 手	87	11	28.3	16
宮 城	47	96	46.9	4.3
秋 田	92	8.0	18.5	6.7
山 形	89	18	75.4	5.7
福 島	74	48	50.2	10
茨 城	44	2.5	5.1	17
栃 木	82	16	8.2	20
群 馬	75	1.3	3.7	13
埼 玉	52	3.6	3.7	27
千 葉	50	3.7	7.7	25
東 京	未調査	未調査	5.6	—
神奈川	22	1.3	8.0	51
新 潟	75	6.1	23.5	不定
富 山	70	71	47.2	1.9
石 川	75	26	23	17
福 井	63	不定	12.7	不定
山 梨	50	不定	28.1	不定
長 野	89	20	27.5	15
岐 阜	64	6.5	18.3	12
静 岡	41	不定	5.8	不定
愛 知	50	1.7	5.2	15
三 重	82	36	75.4	2
滋 賀	80	1.8	10.2	16
京 都	52	2.2	12.0	32
大 阪	31	2.9	14.1	17

都道府県	回答率 (%)	出生数 対比(%)	前回出生数 対比(%)	発見比 (%)
兵 庫	64	6.7	24.1	17
奈 良	40	2.0	10.2	12
和歌山	80	1.2	11.3	18
鳥 取	100	1.3	24.7	16
島 根	70	不定	1.6	不定
岡 山	61	1.1	1.6	39
広 島	59	不定	15.2	不定
山 口	63	不定	2.8	不定
徳 島	50	0.9	0.8	61
香 川	50	1.3	15.8	27
愛 媛	64	不定	1.3	不定
高 知	50	0	31.6	不定
福 岡	57	1.9	6.6	47
佐 賀	88	0.8	9.5	86
長 崎	81	2.9	4.9	42
熊 本	69	6.4	33.1	19
大 分	46	2.0	2.0	80
宮 崎	64	1.5	2.3	28
鹿児島	65	0.9	7.0	54
神 戸	43	不定	未調査	不定
計	65%	7.5%	15.3%	24%

注. 1. 出生数対比=エックス線撮影数/出生数

2. 発見比=股関節脱臼発見数/エックス線撮影数

但し、股関節脱臼発見数に要観察者の数を含む。

3. 不定は、データ不足等によるものである。

4. 前回出生数対比は、石坂ら¹⁾の調査研究の数値である。

参考文献

- 1) 石坂正綱、遠藤幸一 わが国における股関節脱臼の現状と国民遺伝有意線量への寄与、日本公衆衛生雑誌, Vol.21, No.1, P.27, 1974